

古案內

特256

309



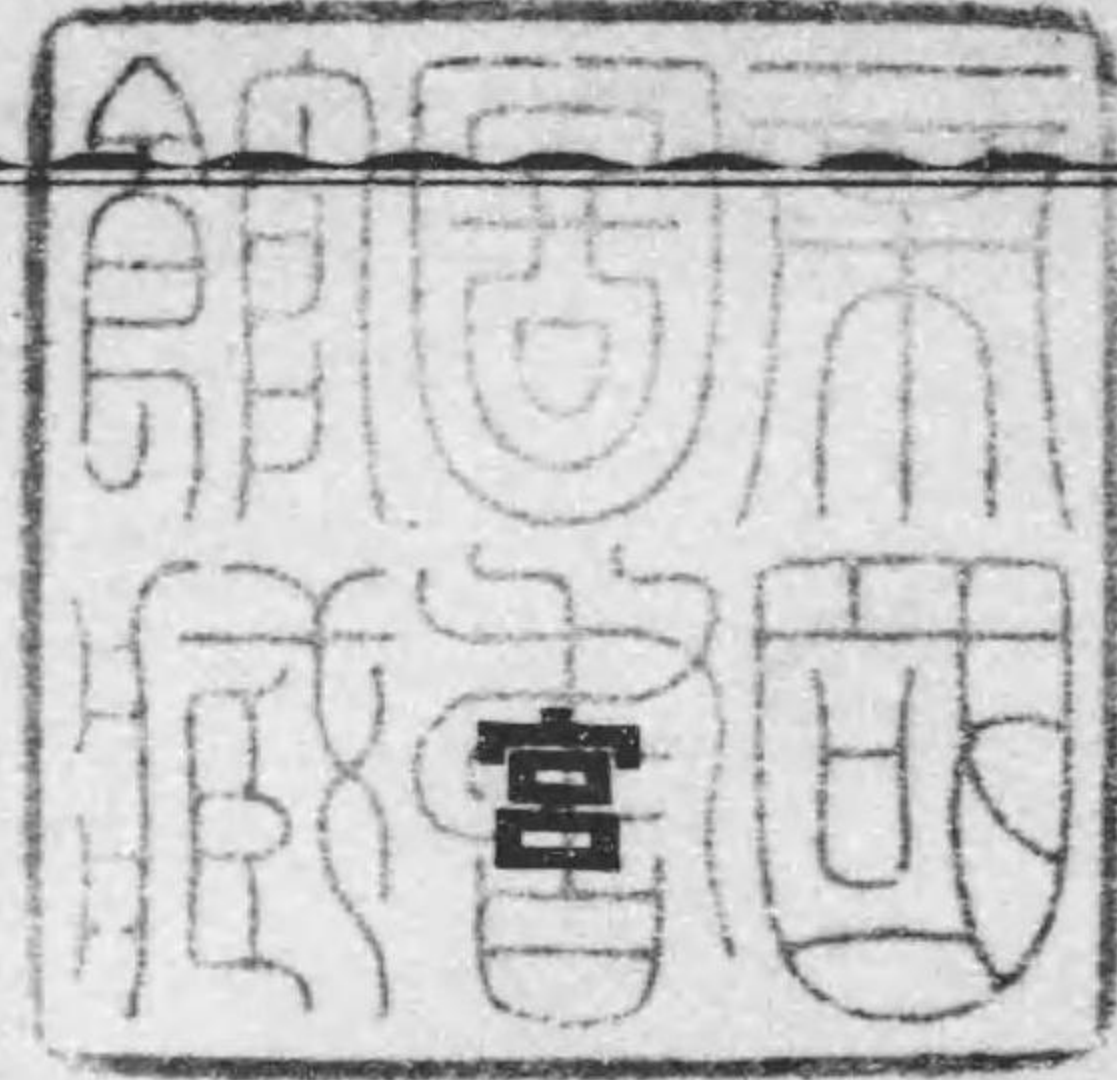
宮古工商會發行



始



特256
309



古
案
內



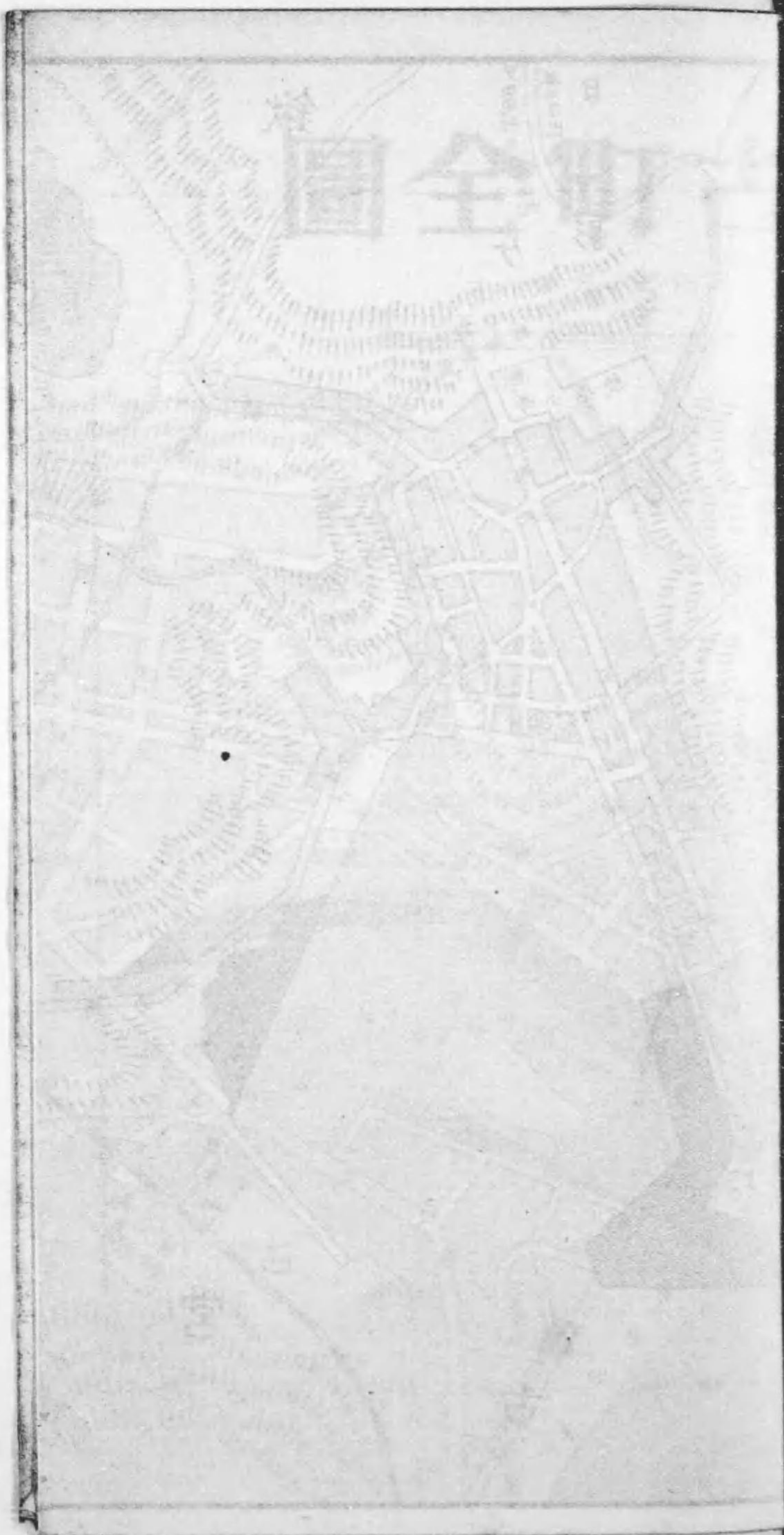


宮古案内



宮古案内目次

宮古町全圖	一	銀杏樹	八
宮古町	一	黒森神社	八
名勝舊蹟	三	熊野神社	九
浄土ヶ濱	三	常安寺	九
八戸穴(沖の井)	四	本照寺	一〇
砲臺場	五	善林寺	一〇
鮎の濱	五	長根寺	一一
日出島(潮噴穴)	六	經塚(一字二石)	一一
藤原須賀(海岸)	六	小笠原善平墓(寄生木の墓)	一二
磯鷄松原(海岸)	七	鴨塚(芭蕉の碑)	一二
横山八幡宮	七	宮古海戦碑	一三
		官軍墓所	一三
		鮭人工孵化場	一四
		重茂燈臺(鮓ヶ崎)	一四



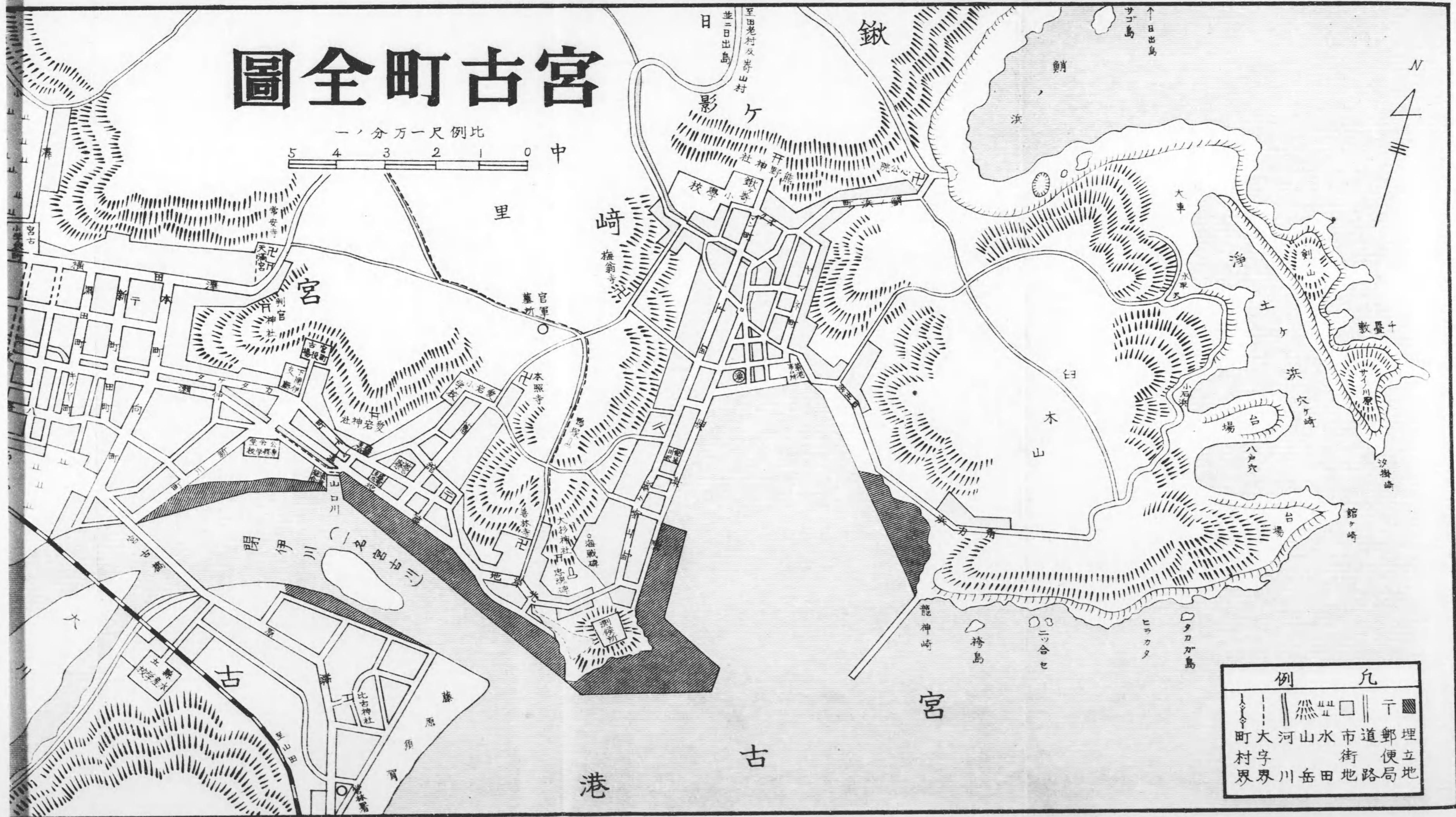
月山八景山	一五
宮古測候所	一五
鮭の津輕石川	一六
宮古橋	一六
三、官公衙學校、會社、組合、工場其他	一七
四、産業	一九
港灣移出入貨物	一九
物産	一九
輸出品	二〇
一、土産品	二〇
五、交通	二二
自動車發着時間	二二
タクシ	二二
圓太郎	二三

汽船、發動機船出帆時間	二三
主要地距離	二三
六、地方行事並行樂	二三
七、郷土色	二四
郷土室	二四
測候所	二五
民謡(大漁踊、宮古音頭)	二五
俚謡	二六
花柳界	二七
宮古辯	二六
八、旅館案内	二六
(附) 氣温及積雪比較表	二八

宮古町全圖

比例尺 一尺一分

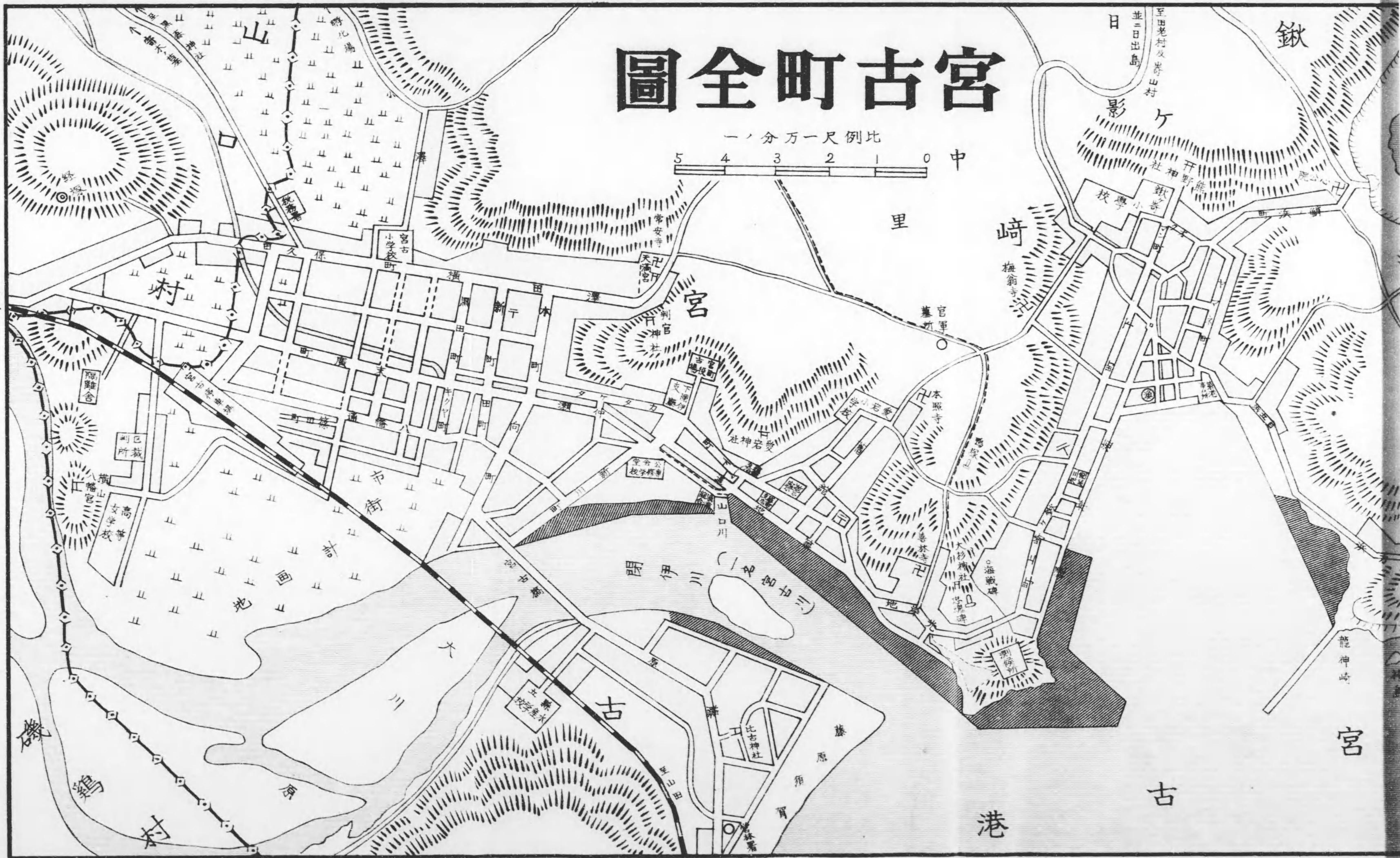
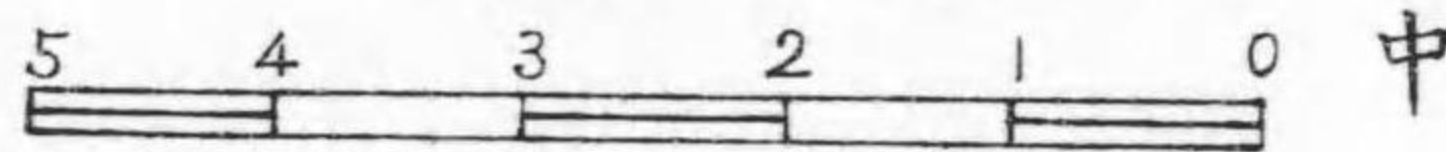
中 0 1 2 3 4 5



例		凡	
⊥		⊥	■
町界	大字界	市街	埋立
川	山岳	水田	郵便局
河川	山岳	水路	郵便局

宮古町全圖

比例尺一萬分一



嶽

至田老村及岩山村
並二日出島

影ヶ

崎

梅翁寺

宮

伊弉川 (伊弉加三)

古

宮

古

港

村

市街

池

鷺

原

藤

原

角

育

田

三

日

出

島

二

並

岩

山

村

及

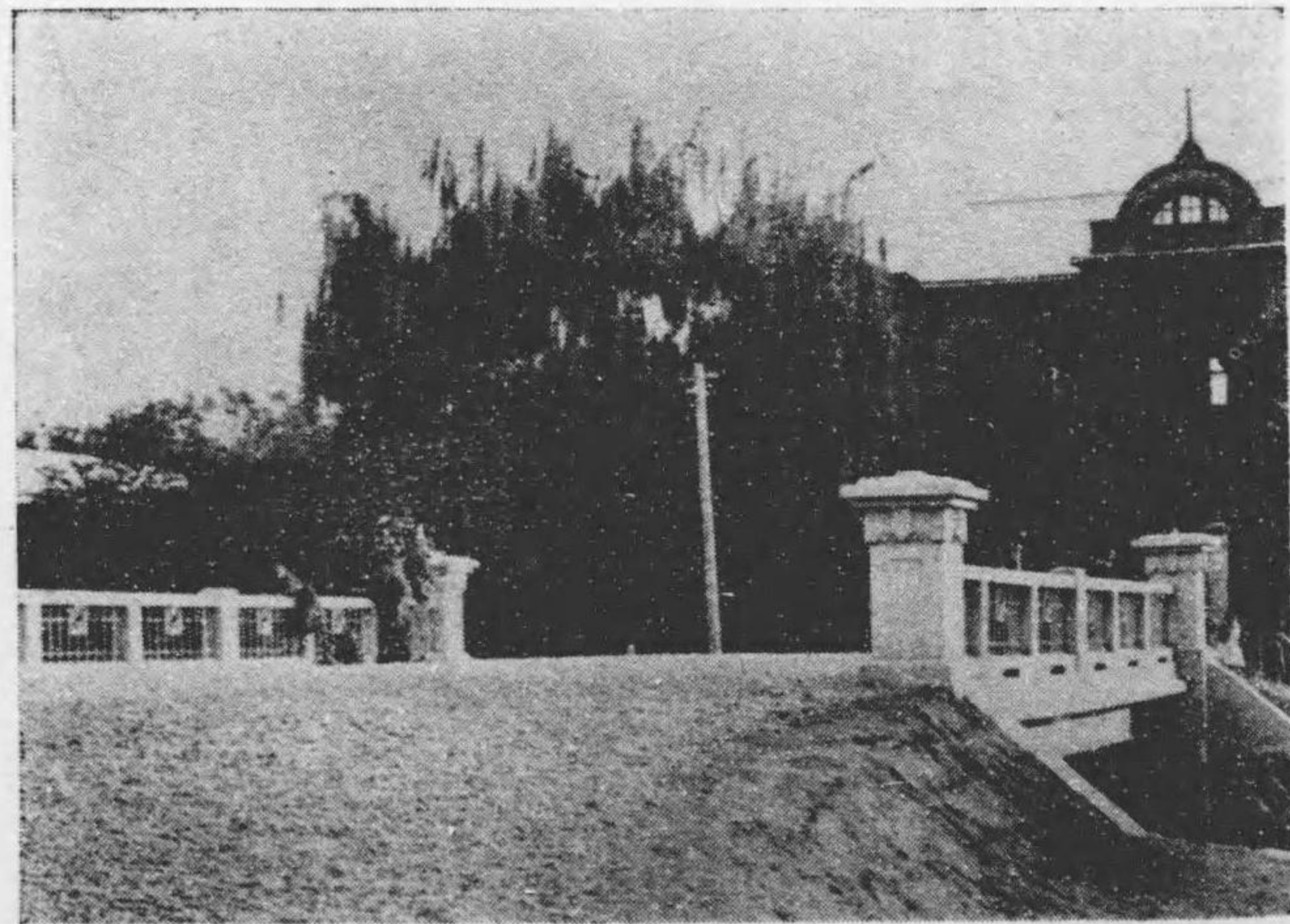
老

田

至



町 古 宮



堂 會 公



大 會 堂
 圖 子 口 山 港 水 山 天 西
 山 野 街 市 林 野
 水 港 山 山 山 山 山

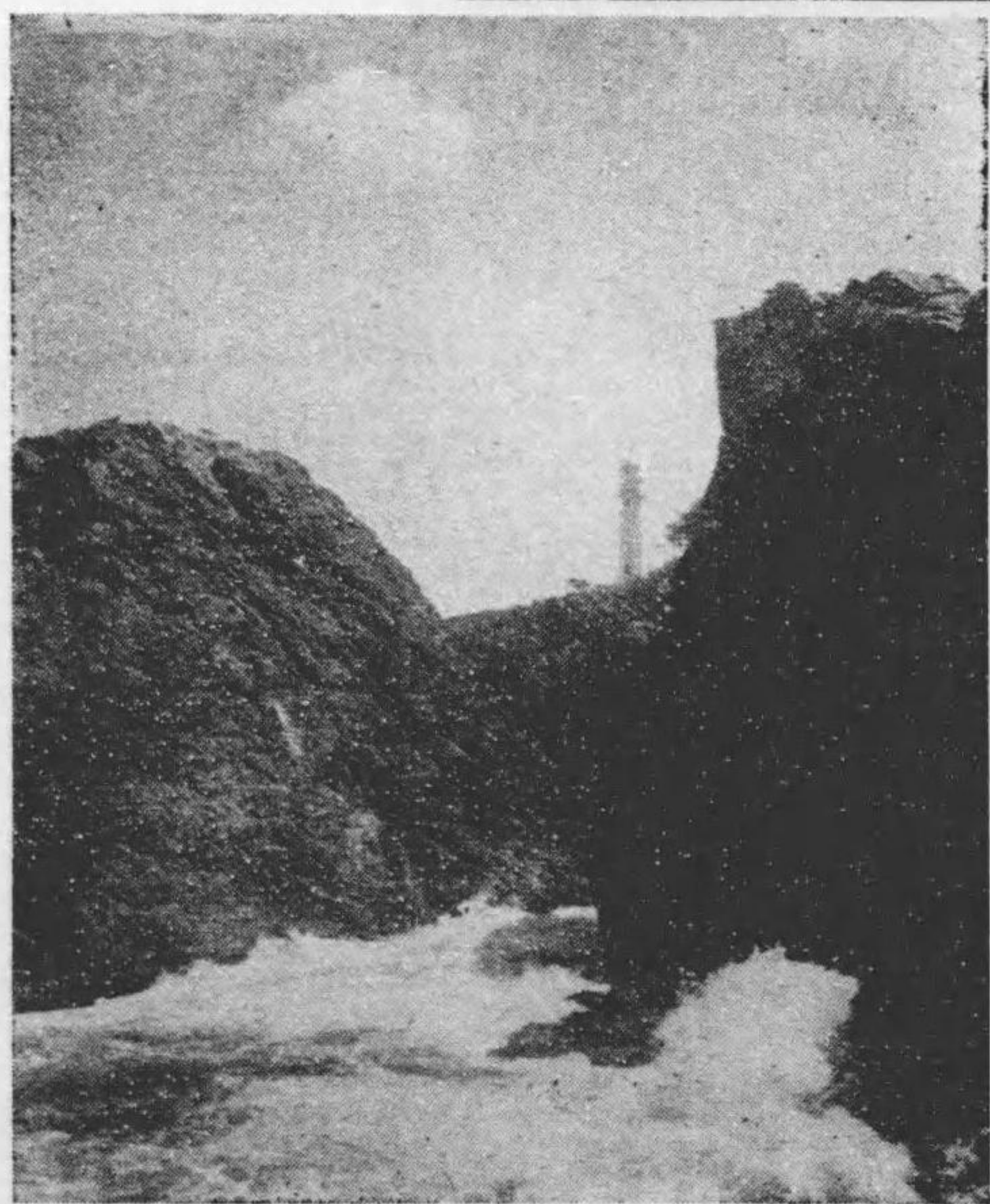
日出嶋ノ潮噴



濱ケ土淨



重茂純ヶ崎燈臺



濱ノ鮑

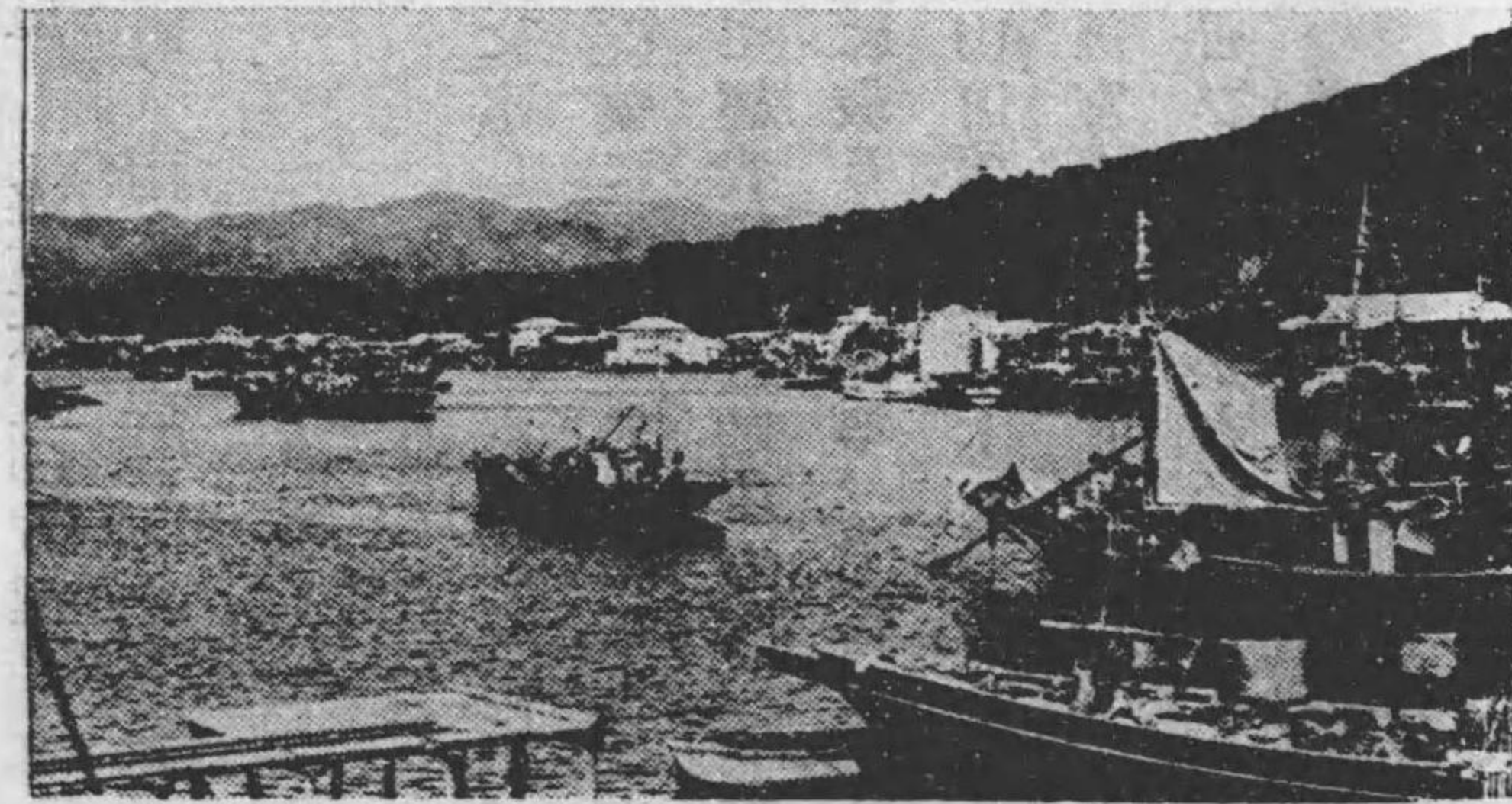


一、宮古町

宮古町は岩手縣東海岸中部閉伊川吐口の沖積地にあつて、北は山口村・崎山村、西は千徳村、南は磯鶏村に連り東は宮古灣を隔て、重茂村に接する。

明治二十二年に初めて宮古町と稱し、大正十三年鍬ヶ崎町と合併して現在の宮古町となつたのである。

宮古は通稱 本町・新町・黒田町・澤田・小澤・横町・末廣町・幾久屋町・田町・向町・八幡通り・篠田町・仲瀬・片桁・下町・新川町・築地通・舊館・光岸地・藤原等の區域に分れ、鍬ヶ崎は 上町・下町・熊野町・山根町・蛸の濱町・日立濱・角力濱等に分れてる。



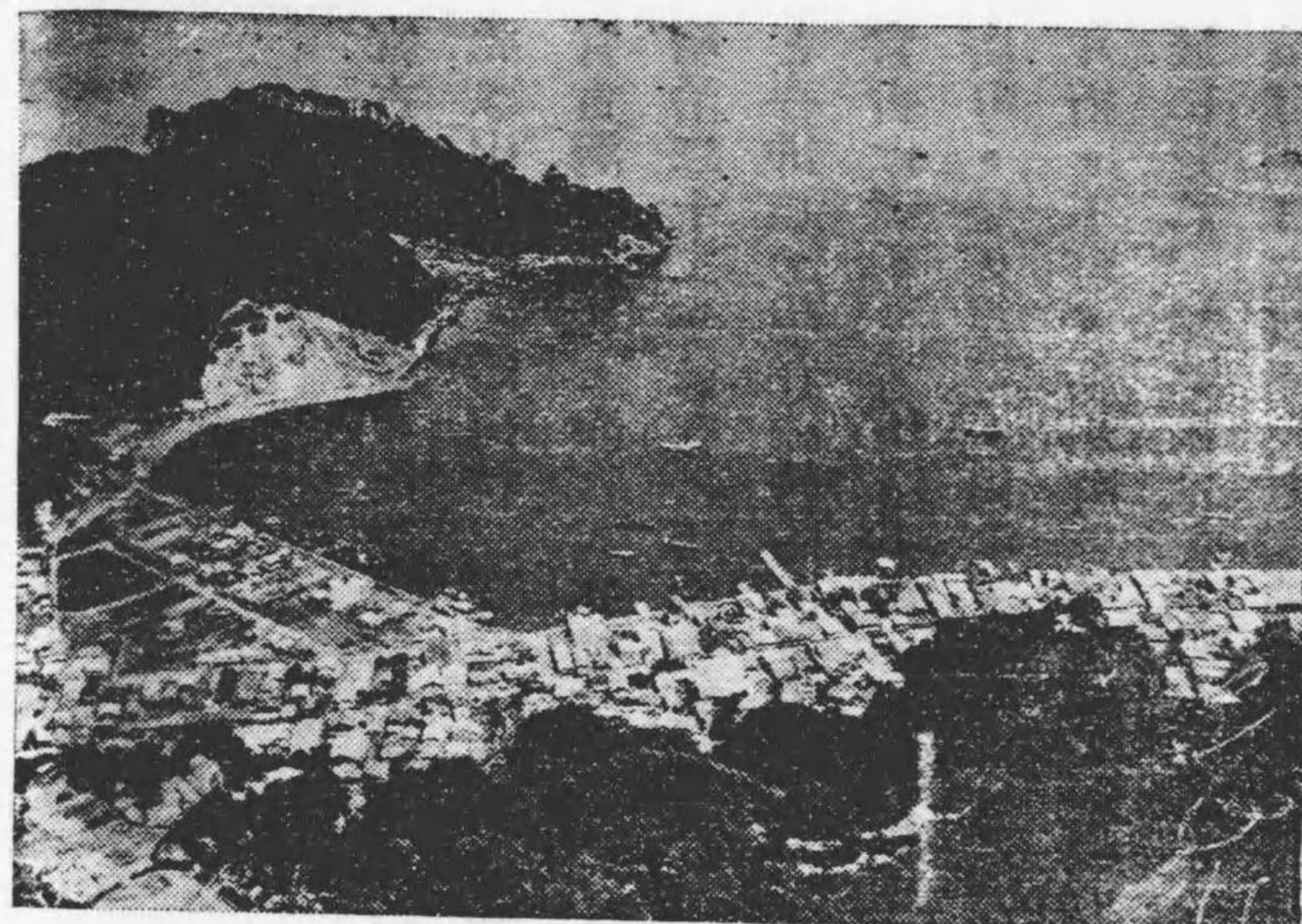
宮古川口



網起シ



鮭大漁



港 寄 ケ 鍛

面積 〇、四三方里 海區六八〇方哩
 廣袤 東西三十五町 南北三十町
 人口 約二万
 戸數 三千七百餘

陸は山を背にして海に臨し、海は水深く波穏かである。大小の船舶の碇繋に叶ひ、先年内務省指定第二種重要港灣として經費約貳百數十萬圓の修築工事彌々進捗し、陸に歲月拾有餘年、工費三千餘萬圓の流石の難工事山田線も本年十一月には宮古迄開通するから此の後宮古町が東北東海岸唯一の新興都市となる事は疑ひの餘地がない。

二、名勝舊蹟地

○淨土ヶ濱 (驛より東北約三十五町、自動車一台貸切壹圓、遊覽船鍛ヶ崎より乗合拾錢、貸切五拾錢)

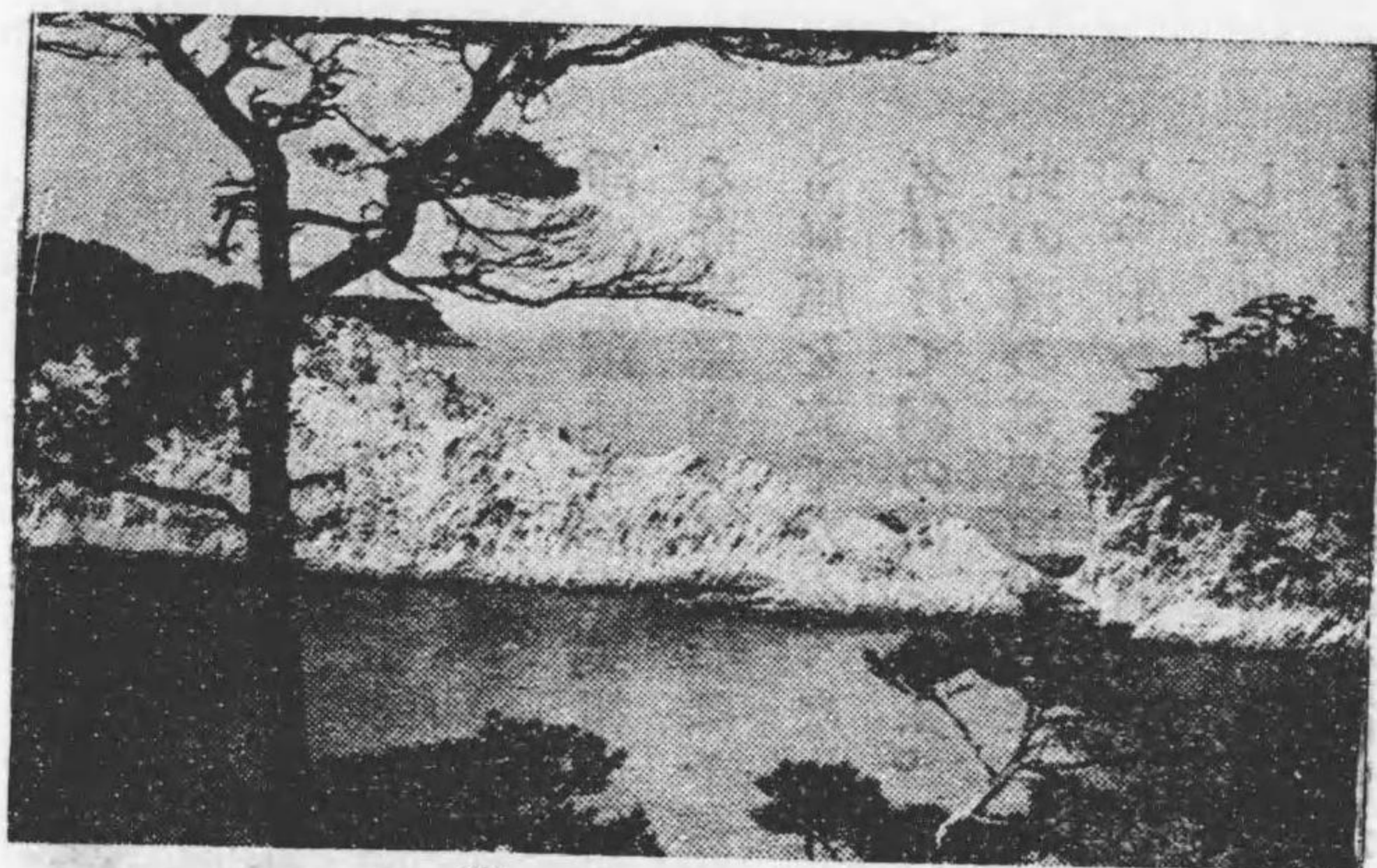
淨土ヶ濱は全部石英粗面岩から成立つて其の峭立せる奇岩羅列せる怪石は千變萬化の形態を盡して中にも屏風を立てたやうな岩石は其の形特に人目をひく名付けて劔の山といふ。

此の濱の東端田代崎に一大平磐がある、千疊敷といふ。此の外賽の河原、血の池等地獄極樂の名稱を寫した地名が多い。

海蝕と板狀節理の交錯した所に老松が跌座し蹲居す



濱 ヶ 土 淨



浄土ヶ濱

る白鷗近く飛び細波動かず其の秀麗明媚實に其の名に背かない勝地である。

春夏の一日一家打揃ひ浅瀬に海草を集め、岩間に魚貝と戯れるならば如何に其の短日を嘆くことであらう。

此處に石川賣店、沖の井館等の賣店がありて少憩するにもよろしい。

浄土ヶ濱(海濱)ホテル完成の曉は遊客は天然の美と人工の美の中に酔ふことが出来やう。

○八戸穴(沖の井) (驛より東北約三十町)

浄土ヶ濱の東、楯ヶ崎附近に一大岩窟がある八戸穴といふ。其の奥の深さは知る由もないが、昔より青森縣の八戸へ通ずると稱して此の名がある。

古今集、小野小町の歌「沖の井」は此處ならんといふ。

沖の井の身を焼くよりも悲しきは

宮古島への別れなりけり

○砲臺場 (驛より東北約三十町)

白木山の東側楯ヶ崎の直上に砲臺場がある。文政八年(約百年前)六月夷國船打拂の幕命によつて築造された。

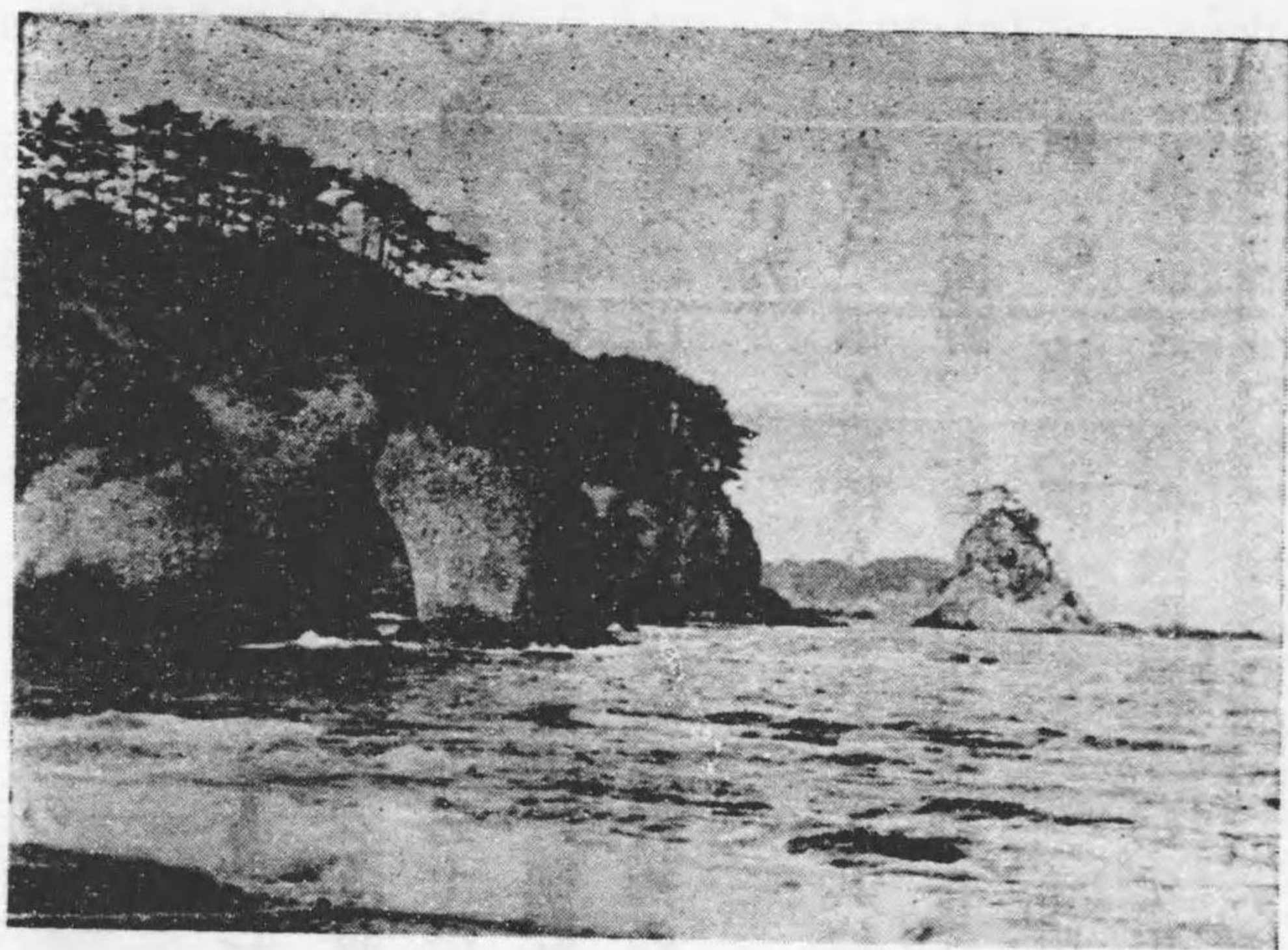
宮古、楯ヶ崎給人二百五十人其他農兵數多、急變の時遠野、花巻より援兵の都合なりしといふ。

○銷の濱 (驛より東北約二十町)

久しい波浪の侵蝕作用によつて出来た銷の濱は其の海に迫つた所に幾多の洞門がある。幾十尺の高さに



浄土ヶ濱



館の濱

横わる上梁は奇観といふより外はない。門間遙か海上に日出島を望み、帆船白く點在して窓中洞庭を窺ふことが出来る。(キャンピングによるし)

○日出島(潮噴) (驛より北約一里半)

崎山村日出島に潮噴岩がある。其の口径約一尺波浪此の岩に激すればまづ遠雷の轟きが起り雲時にして潮水の噴出して丈餘の水柱となり、時には二丈・三丈に達するのは珍らしくない、實に壯觀の限りであり天下稀に見るの現象として噂に高い。

○藤原須賀海岸 (驛より約十五町)

宮古川口の南一帯磯鷄についで白砂の長汀

がある、藤原須賀といふ。海水清く岸をうつて四季共に杖を曳くによい。特に夏の海水浴場として又近年種々の催もあり、老幼を問はず夏を避くるに適す。

○磯鷄松原 (驛より東南二十町)

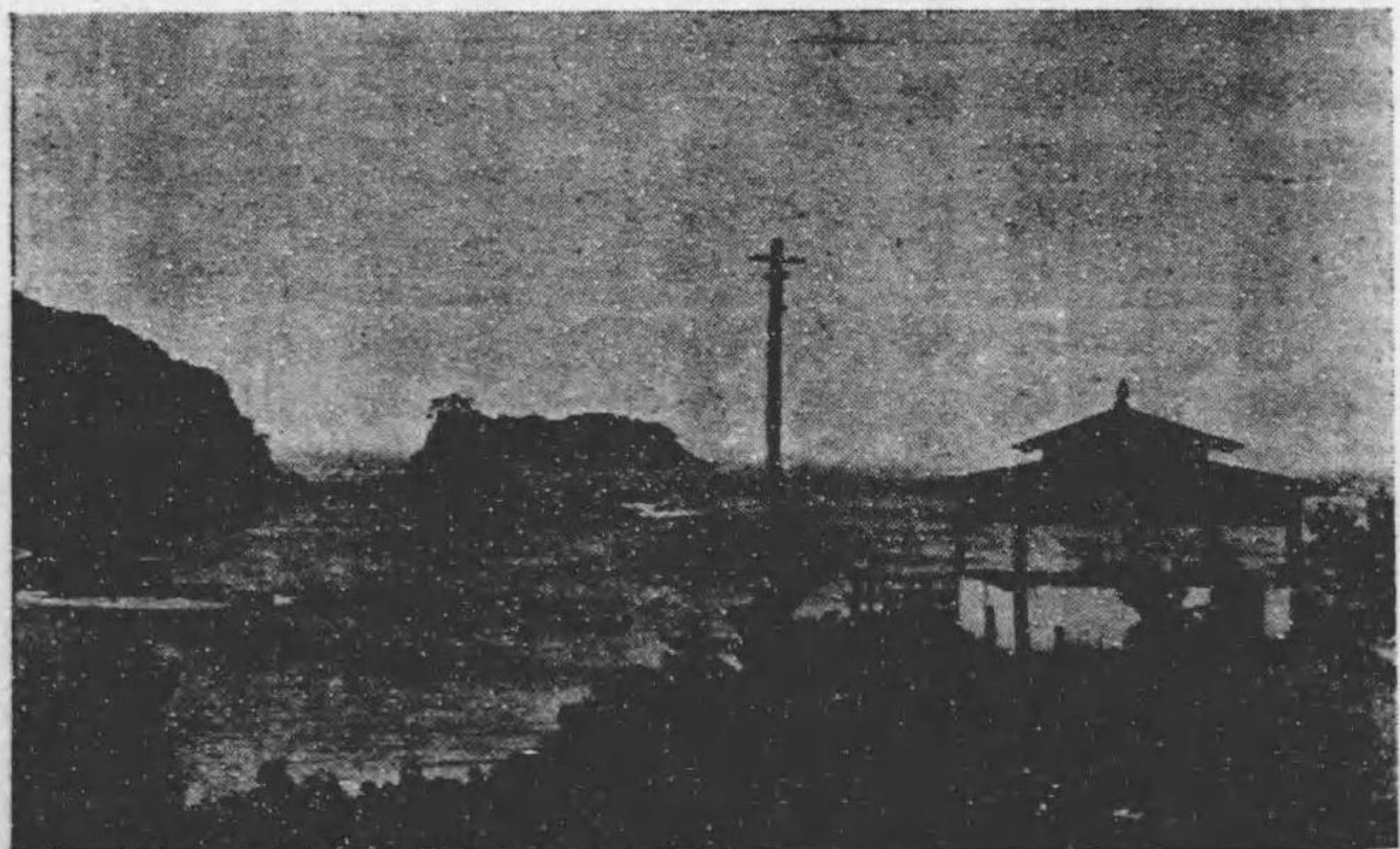
白砂青松といふ古い文句で言ふより言葉以上の散策地に磯鷄松原がある。砂は清く松は赤く幹を天空に伸した所憩ふによろしく歩むによろし、夏は浴して緑蔭に夢を見る、キャンピングの絶好地である。

○八幡宮 (驛より西南約五町)

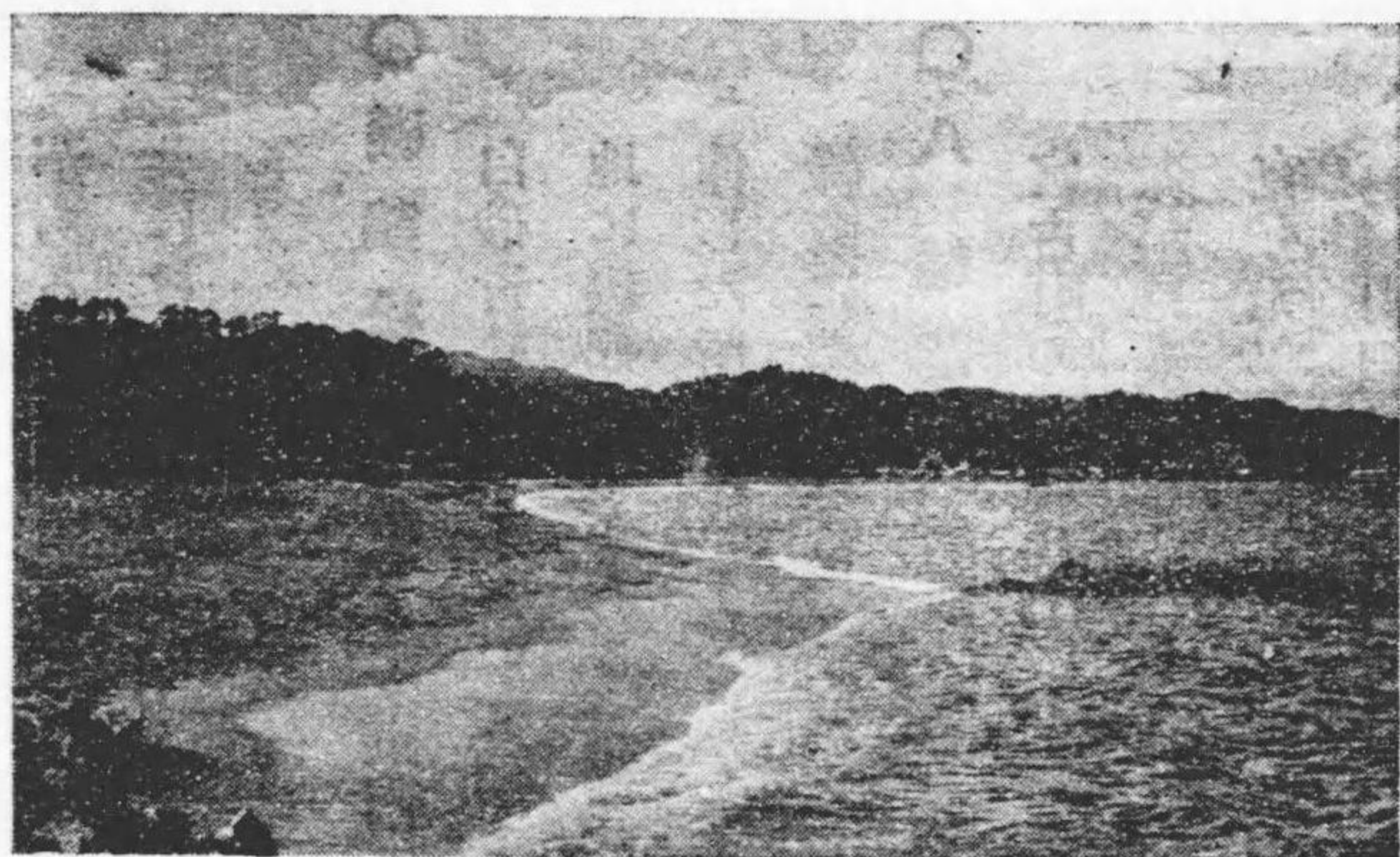
宮古町の西側丘上に古松老杉枝を交へて鬱蒼とした森が見える。これは郷社横山八幡宮である。

寛弘元年(九百年前)神官一夜靈夢を感じ其の神歌

山畑に作りあらしのえの子草



館の濱



賀 須 原 藤

あわのなるとは誰か言ふらむ

を得て阿波の鳴門の怒濤を静めたといふ。

時の天皇一條帝の叡威に叶ひ横山八幡宮の神徳を稱へられた外「此の後は其地を都と同じ宮古とせよ」との有難き言葉を賜つたと言ふ。

○ 銀 杏 樹

横山八幡宮の南麓に一株の老銀杏樹がある。八幡の祠官阿波の鳴動を鎮め、いたく面目を施し其の歸郷の途次携へたる銀杏樹の枝を挿し其の活を誓ひしより其の後九百二十年の名木たるを失はない。

○ 黒 森 神 社 (驛より北約三十五町)

山口村黒森山腹に古風な社殿黒森神社がある。長慶天皇の御陵との説が盛になつて來た。今尙調査

岩手縣宮古末廣町

青 田 寫 真 館

電話三五二番

盛岡電燈株式會社

宮古支店

岩手縣宮古町
電話(全拾四番)
貳百六拾八番

宮古いか煎餅(いか形二種)
名物

菅田菓子店

宮古港本町
電話二六六番

岩手縣宮古町下町

健康堂藥局

藥劑師 船越賢太郎
電話三三九番

宮古港館合



徳橋本桐材店

電話三四一
略話ハシ(又ハ)ハ

岩手縣下閉伊郡宮古港字本町

合資會社 東屋酒造店

電話(アツマヤ)又ハ(ア) 貳番

美術染物絹布専門一般加工

尖嶋田染彩所

宮古町保久田
電話三七五番

各寄港地

田老 小成
小本 平井賀
羅賀 普代

北濱定期荷客船扱

陸中國宮古町

久羅賀丸回漕店

大澤得次郎

電話 百〇九番
受電略號 (ミヤコラガマル)
發信略號 (ラカ〇) 又 (ハラ〇)

書籍雜誌
家庭真材
金物料



伊藤屋書店

岩手縣宮古町新町川端
電話 一四四番

宮古町本町

高京吳服店

電話 二〇一番



保証責任

信用購買
販賣利用

組合宮古物産倉庫

岩手縣下閉伊郡宮古町鉾ヶ崎

電話 九番
受電略號 (ミヤコファツサン)
發信略號 (ソコ) 又 (ハ) ソ

宮古新町 松屋吳服店

電話一六一番

時計
眼鏡

芳川時計店

宮古末廣町

パンと菓子



石田屋

宮古町新町

電話三〇二番

日本石油株式會社代理店
會社 龜井商店

宮古油槽所

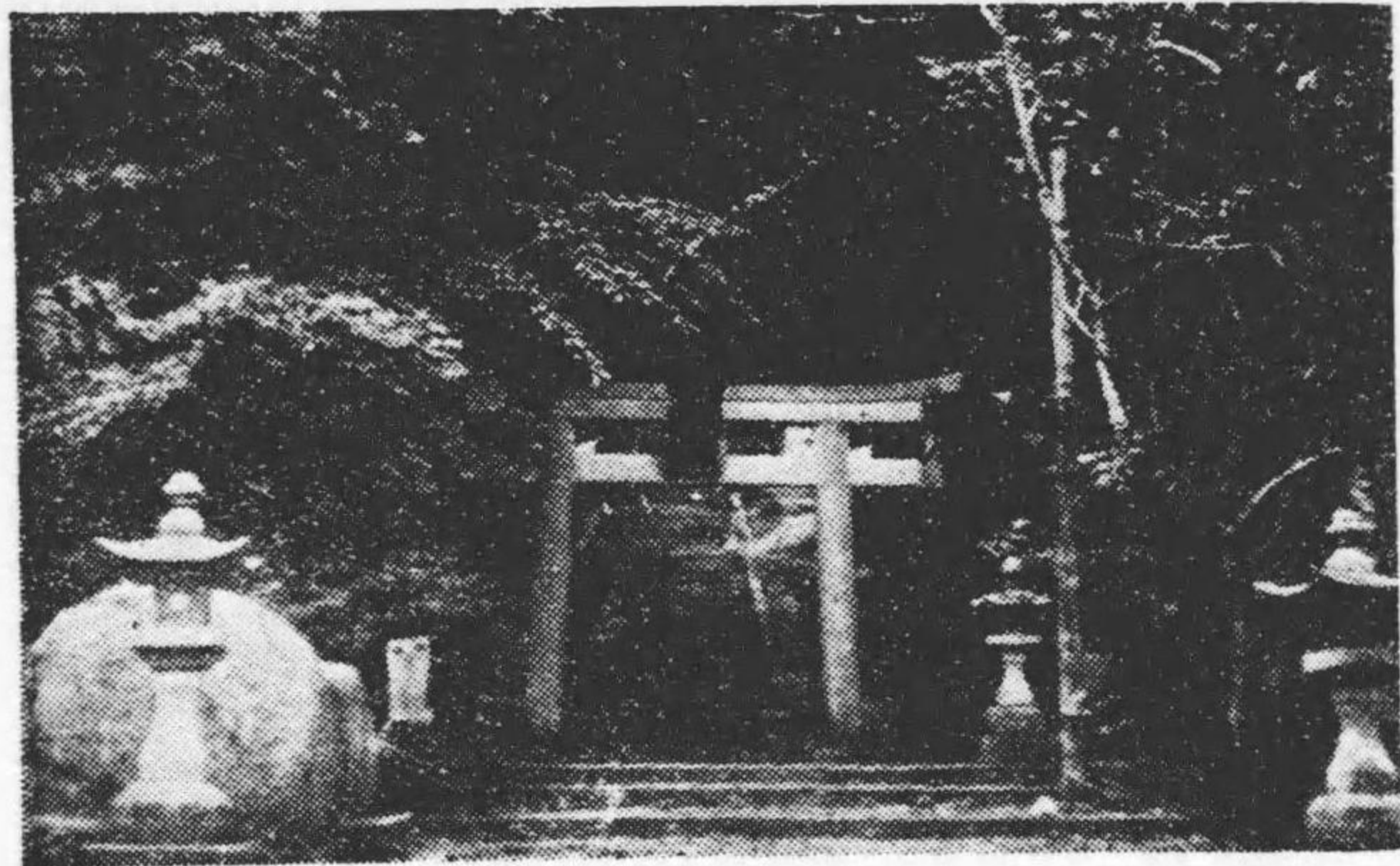
電話一三四番

營業種目

石米魚油 石油 魚油 魚油
部部部部 部部部部

本店 釜 釜 釜 釜

電話 五五番五九番
七七〇番(交換機)
築港新倉庫七四番



宮 幡 八 山 横 社 郷

中であるが、何れ其の眞偽の程は決し難い。何れにせよ高貴なる方の御遺骸を奉祀せることは何人にも信ぜられる。

○熊野神社(村社)(驛より東北約二十町)
 字 鍛ヶ崎下町にあり、祭神は伊邪那美命である。
 毎年六月十七日の例祭には神輿の海上渡御あり幾多の漁船供奉し頗る壯觀を極める。
 本社の位置は丘陵の上に在るが故に鍛ヶ崎の市街は眼下にあり宮古灣は其の前方に展開し風景頗る美である。

○常安寺(驛より北東約八町)
 宮古山常安寺(曹洞宗)は字澤田にあり、隣村千徳村花原市華嚴院の末寺である。元館間の地にあつ

呉服太物、仕立物、洋服、トロンピ、吾妻
 コート、外套、ズボン類、メリヤス、ゴ
 ム靴、革靴、剣道具、柔道衣、其他一式

幾久龜治商店

岩手縣宮古町本町
 電話(キカ)又(カ)
 番号東京一九八五二番

宮古名勝 浄土ヶ瀧景

おみの御裁縫箱

高岩本店

宮古町下町通り
 電話一七〇番

活動常設 宮古館

電話一二六番
 宮古町仲瀬通り

愛國生命保險株式會社代理店
 帝國火災保險株式會社代理店

佐々木藤之丞

電話一〇六番
 宮古町黒田町

たが慶長十九年の大津浪のために全部流失して今の地に移した。

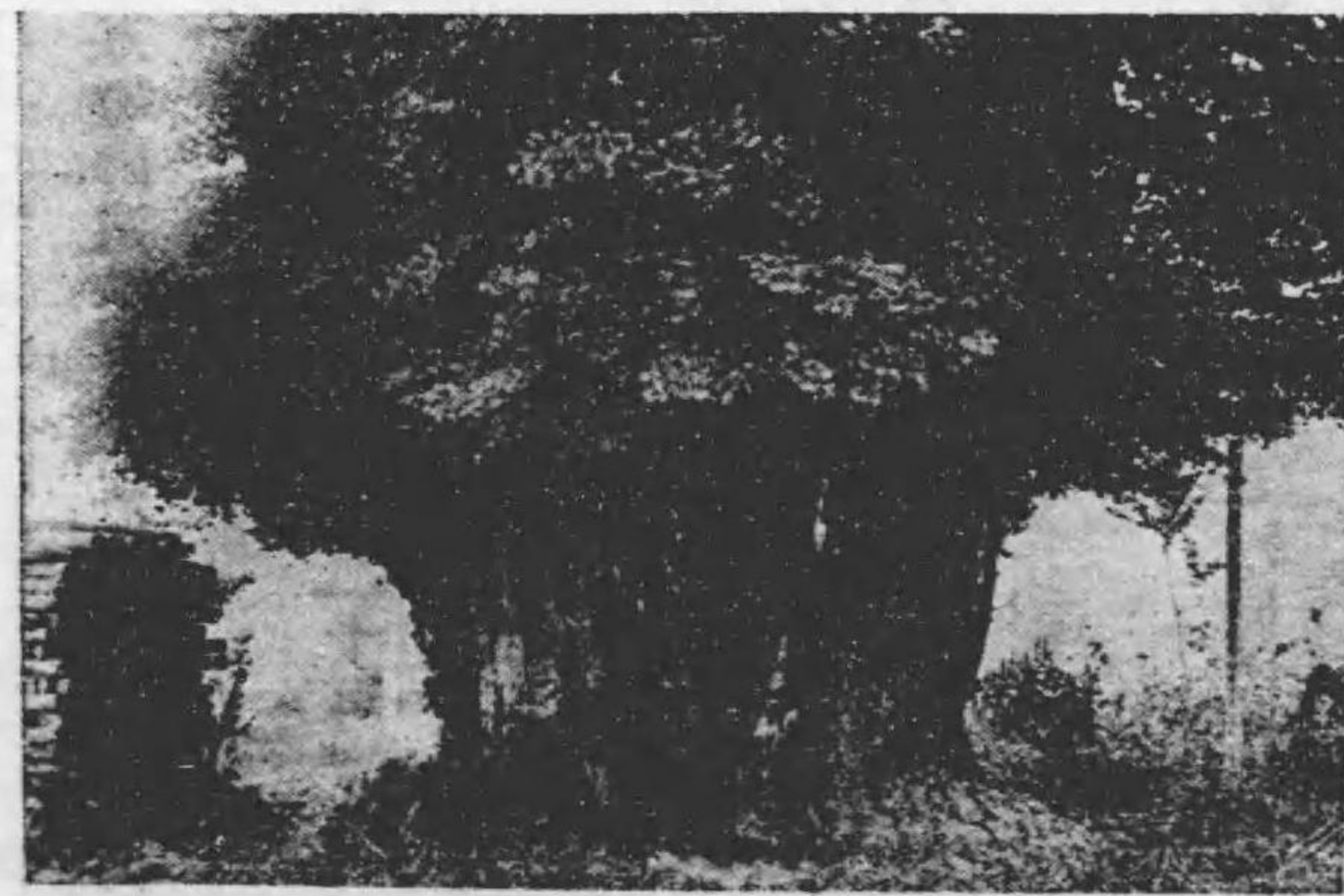
一世義門から法燈此處に二十二世、幾多の名僧が輩出し改築修造今や法運益々隆昌を極め、地方稀にみるの大伽藍である。域内は老杉古木蒼鬱として聳へ夏尙暑さを知らない。

○本照寺 (驛より東約十町)

寂光山本照寺は字舊館にあり、日蓮宗にして新築後間もなく大正八年一月不幸類焼烏有に歸せしも現住職關口養隆師及檀家の努力により再建、寶物として賜紫日頭師筆の日蓮大菩薩の像軸あり。

○善林寺 (驛より東約十町)

江岸山善林寺は眞宗大谷派にして字光岸地にあり、



八幡宮の大きな銀杏

現住職東館正音師なり。

○長根寺 (驛より西十五町)

千徳村長根に長根寺といふ寺がある。其の寺寶中に國寶物があるとて頗る世の注目をひいた所である。

黒森神社と併せて研究すれば仲々興味の盡きぬものがあるといふことで歴史家は必ず一度は此の寺を尋ねる。

○經塚 (驛より西約六町)

山口館間たてあひの高丘に高さ八尺五寸幅五尺の自然石に「五部大經一字一石雲公成之永和第二」の十六字を四行に刻んである。

今から百五十年前菊池五山が此地方に遊んだ時此の碑を一見して其の風格



經塚

を慕ふて止まず、模寫して之を寛齋に贈つた。處が寛齋又激賞して措かなかつたといふ。今も猶雲公が何人であるか不明である。

○小笠原善平墓 (驛より北西約二十五町)

文豪蘆花の小説寄生木の主人公篠原良平事小笠原善平は近村山口村山口の産である。蘆花は寄生木をもつする前親しく此の地に來て執筆したといふ。今は村内慈眼寺境内に小笠原善平墓と乃木將軍の書せる墓標を残してゐる。

○鴨塚 (芭蕉の碑) (驛より東北約十町)

歟ヶ崎上町より宮古へ通ずる夏保峠に高さ四尺巾一尺三寸の自然石に俳聖芭蕉翁の名句と刻める碑がある。鴨塚といふ。天明年間(約百五十年前)盛岡の俳人素郷此の峠に立ち海くれてほのかに白し鴨の聲

と刻める碑がある。鴨塚といふ。天明年間(約百五十年前)盛岡の俳人素郷此の峠に立ち遙か海上を眺め不圖此の句を偲び感嘆の餘り遂に此の碑を残せりといふ。

○宮古海戦碑 (驛より東約十町)

歟ヶ崎高臺對鏡閣附近にあり、明治二年三月廿五日官軍軍艦甲鉄外七隻と函館より逆襲



宮古海戦碑

○官軍墓所

せる幕軍榎本武揚の部下荒井郁之助の率ゆる軍艦回天外二隻と當宮古港に會し激戦し幕軍は死者十九傷者數十人を出し遂に敗走した、當時の戦蹟を録せるものである。故東郷元帥閣下も此の戦に官軍の一士官として従軍なされしと云ふ。

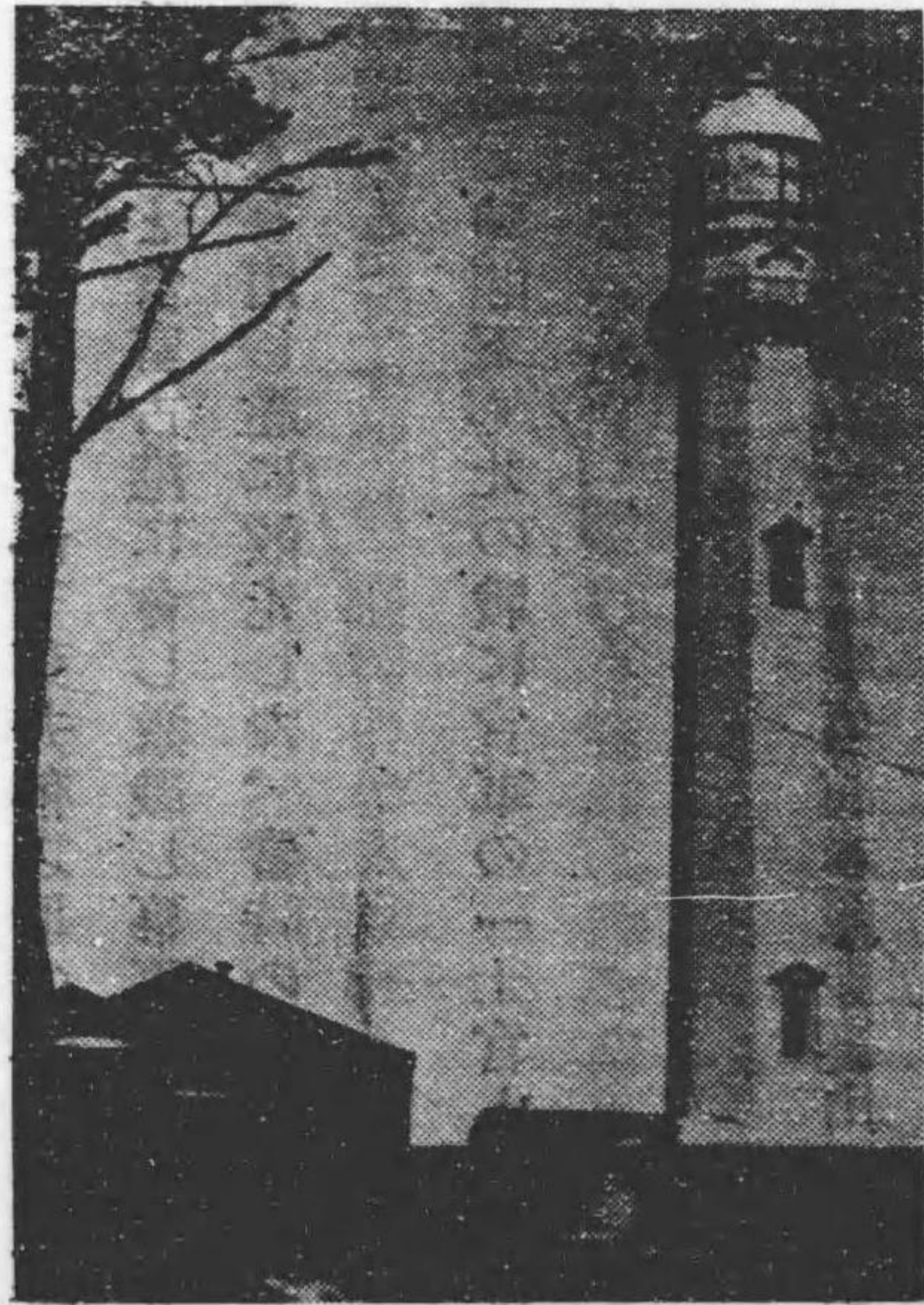
二ヶ所あり、其の一つは字舊館本照寺裏山上にあり明治二年三月宮古海戦に戦死せる梅田梅之丞外三名の墓。他の一つは常安寺右側にあり、明治元年十一月(函館五稜廓)討伐隊三千人山田港より陸路全地へ向ふ途中當地に逗留病死せる岡山藩士小西光信の墓。

○小澤鮭人工孵化場（驛より北約八町）

鮭人工孵化場は宇小澤にあり宮古漁業組合事業の一つである。鮭の卵を採つて此處で孵化せしめ、稚魚として四・五月頃之れを宮古川に放流する。エラフタに標識をつけておくので數年後故郷の宮古川に歸つてくる魚の習性を利用したもので毎年約百万の放流が行はれるが大きな漁業界の一事業として一瞥に價する。

○重茂燈臺（鮭ヶ崎）（驛より約四里）

重茂村元村より南東二里十町、長磯濱に三十三米の鐵製八角形の高塔が老樹萬翠の中に光つてゐる。これは本縣唯一の鮭ヶ崎燈臺である。明治三十五年の創設で光力十萬燭光、遠距離二十裡に及ぶ。



鮭ヶ崎燈臺

○月山（驛より東約一里半）

宮古灣の一方を抱いてゐる山、閉伊岬の最高峯は月山である。日も月も此の山の端よりのぼつて灣内に影をうつす。

宮古より對岸へ一里、白濱丸（通船）かモーターボートによつて白濱に上り、林道によつて頂上に達する一日の清遊地である。

○宮古測候所（驛より東約十町）

宮古測候所は明治十六年二月、宮古灣の風光を一望にをさめる鏡岩舊砲臺跡に設けられ、五十餘年の輝く歴史をもつてゐる。觀測を開始してから重要な東海岸氣象と津浪に關する調査によつてこの地方は勿論我國の學界に貢獻したことは非常なもので益々重



嵯

鳴

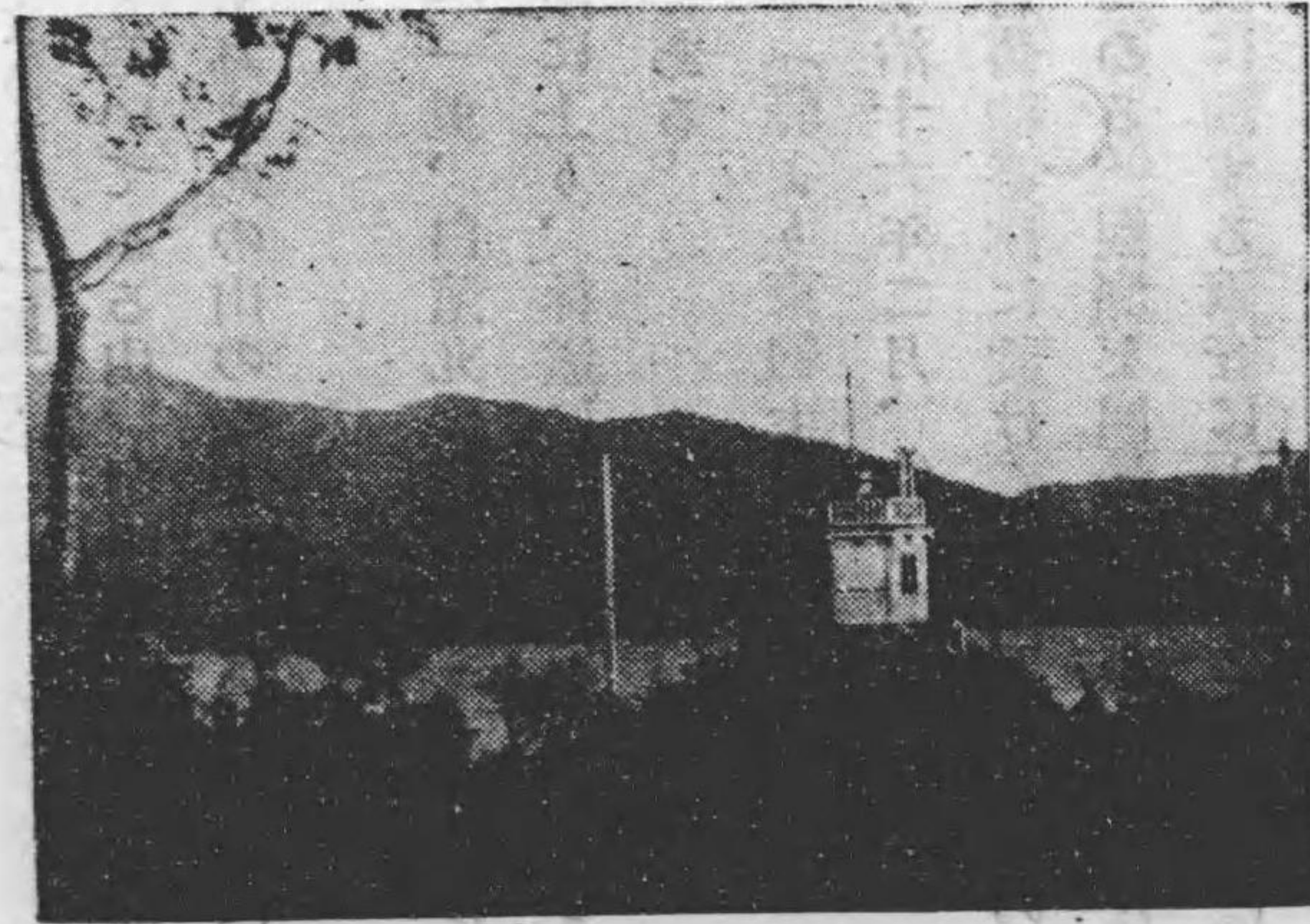
要さを加へて来た。

○ 鮭の津輕石川 (驛より南約二里)

津輕石川を縦に縫つて宮古灣に注ぐ津輕石川の清流、毎年一月になると鮭群が密集し此の小川に上る其の數、万を越へ爲めに川水が五寸も高くなると云ふ。ヒタ／＼と鮭群が背を現はして所せまい迄にゾク／＼ゐる所ゴム靴をはいた若者が水中に入つて之を追ふ様實に壯觀である。

○ 宮古橋 (驛より南約五町)

字藤原との間宮古川(閉伊川)に掛けたる長橋、昭和八年三月の津浪に破壊され目下十六万圓の工費を以て工事中、全長百九十五米六〇、幅五米五〇の岩手縣下でも有數の長橋。



宮古測候所

三、官公衙、學校、會社、組合、工場、其他

下閉伊支廳	下町	宮古土木管區	下町
下閉伊水産會	下町	宮古町役場	下町
宮古職業紹介所	下町	宮古警察署	舊館
宮古郵便局	舊館	宮古新町郵便局	新町
鍛ヶ崎郵便局	鍛ヶ崎	宮古區裁判所	八幡
下閉伊稅務署	舊館	宮古測候所	光岸地
宮古營林署	藤原	內務省築港事務所	鍛ヶ崎
宮古木炭檢査所	舊館	公會堂	新川町
物産館	新川町	宮古漁業組合	築地
鍛ヶ崎漁業組合	鍛ヶ崎	岩手縣立水産學校	藤原
宮古高等女學校	八幡	宮古商業專修學校	新川町



岩手縣立水産學校

鐵ヶ崎水産補習學校	鐵ヶ崎	宮尋常高等小學校	横町	鐵ヶ崎尋高小學校	鐵ヶ崎
宮古小學校分校	舊館	私立宮古幼稚園	幾久屋町	宮古公益質屋	舊館
魚市場宮漁業組合	鐵ヶ崎	宮古商工會	新川町	産組宮古物産倉庫	鐵ヶ崎
宮古信用組合	本町	煙草元賣捌所	築地	鹽專賣所	築地
岩手殖産銀行	築地	宮古海産商業組合	鐵ヶ崎	宮古新聞社	館合
三陸タイムス	保久田	宮古日日新聞社	片拵	三陸汽船會社支店	鐵ヶ崎
元三陸冷蔵庫	鐵ヶ崎	宮古林業株式會社	築地	三社自動車事務所	新町
盛電宮古支店	築地	宮古倉庫運送會社	築地	岩手無盡宮古支店	築地
盛宮自動車會社	築地	宮古合同運送會社	驛前	宮古運輸株式會社	驛前
糸又醸造場	横町	菱屋酒造場	鐵ヶ崎	若山鐵工場	光岸地
横田鐵工場	鐵ヶ崎	澤口鐵工場	鐵ヶ崎	佐々木鐵工所	下町
德江刻昆布工場	藤原	染谷製材工場	光岸地	中居製材工場	新川町
村田製材工場	向町	殘間製材工場	鐵ヶ崎	秋永桐材工場	横町

四、産 業

商港と漁港とを兼ねる宮古港は大きなヒーターランドを有し山田線を通して西盛岡より南山田・釜石と接近し北は船便にて田老・小本をつなぎ水産物は勿論農産物・林産物・工産物豊富に其の集散地として縣下唯一の港市たるを失はない。
今其の大略を記せば

港灣移出入貨物

移出高	二九一、〇一二噸	一一、九五九、〇一〇圓
移入高	一七七、三五九噸	一三、六〇〇、六九八圓

物 産

水産品		
漁獲物	二、五一六、五〇二貫	一、三八一、五七二圓
製造物	三、一一一、八九六貫	二、五三四、二〇八圓

工 品
農 産 物
畜 産 物
林 産 物

三、一三〇、七七〇圓

三六、五八〇圓

三五、四六七圓

六二、四六七圓

市内主ナル組合海産物取扱販賣高（八年度分）

宮古漁業組合 共同販賣所 約百万圓 鮮魚類

嶽ヶ崎漁業組合 共同販賣所 約三十五万圓 鮮魚並海藻類

産業組合 宮古物産倉庫 約五十万圓 魚粕及魚油、干鰯

主ナル物産及輸出品

海産物 鮮魚、鹽干魚、海藻類

水産製造物 鯉節、鰯、煮干鰯、魚粕、竹輪、蒲鉾、鹽鮭、魚油、干鰯

林産木工品 枕木、松杉材、桐材、木炭、スキ材、家具、履物

其 他 繭、天然氷

土 産 品

鯉節、小魚味淋乾、鰯、海苔、松藻、刻昆布、卷若布、雲丹鹽辛、いか鹽辛
鮭粕漬、鮑切込、桐下駄、桐製品、鯉せんべい、海苔羊羹、だるませんべい
いかせんべい

五、交 通

一、自動車發着時間

山田行自動車（尾半、山田自動車） 宮古發 前八時、 前十二時、 後三時
（大槌・釜石連絡） 山田發 全 全

遠野行自動車（前川自動車） 宮古發 前六時半、前十二時

遠野發 全 全

刈屋和井内行自動車（刈屋自動車） 宮古發 前八時、 和井内發 前十二時

二、タクシー

十二臺あり、市内—五十錢、浄土ヶ濱—壹圓

三、圖 太 郎

宮古—楸ヶ崎—千徳村方面一日六回、宮古—楸ヶ崎…五錢、宮古—千徳村…十錢

四、汽船・發動機船出帆時間

鹽釜行（三陸汽船會社、定期） 宮古發 夜十一時

東京直行（同會社、不定期） 月 二回

函館行（同會社、不定期） 月 三回

田老行（定期） 宮古發 前八時、後一時

小本行（定期） 宮古發 前三時、前五時

白濱行（月山、重茂村、鮎ヶ崎燈臺連絡） 一日五回、料金十五錢

津輕石及赤前方面行 一日三回、料金十五錢

五、主要地距離

東京—三六四哩	山田—六里	盛岡—六〇哩
函館—一五〇哩	大槌—一二里	青森—一八六哩九
室蘭—一六五哩	釜石—一五里	仙臺—一七三哩
釧路—二二五哩	田老—四里	東京—三九〇哩
鹽釜—一一五哩	小本—七里	
釜石—五四哩	岩泉—一〇里	
八戸—七一哩	刈屋—五里半	
久慈—四一哩		

六、地方行事並行樂

うぐひ釣り—六月頃より十月一杯、町の川岸や海岸どこでも釣が盛んです。竿は七八尺で結構、餌はいかのふ、餅、蛹、蠅等、餅の二錢代もあれば一日たくさん、女でも子供でも五匹十匹は一寸の間に釣れます。普通五六寸から八寸位大きいのは一尺位も釣れます。

鯛かけ(夏いか、七月―八月)―涼風に吹かれ乍ら小船に便乗、灣内すぐ近くに出て釣ります。初めての人も簡単です。是非一度は釣りにお出下さい。生きたいかが潮を噴きながらピークする所全く愉快です。

鯖釣り(八月―九月) 汐干狩(四月―九月) 鮭漁(十一月―二月) アサリかき(二月―五月)
お玉様縁日(舊三月二十一日) 藤畑神社祭典(舊四月二十日) 黒森神社祭典(舊六月十四日)
尾崎神社祭典(舊六月十五日) 熊野神社祭典、引船(舊六月十七日)
網場祭り、引船(舊七月十七日) 八幡宮祭典、引船(舊八月十五日)
松あかし(舊お盆) 万燈ながし(お盆) 夜市(七月―十月)
定日市(宮古、二九ノ日) (鍛ヶ崎五ノ日)

七、郷土色

一、郷土室

宮古尋常高等小學校郷土室(昭和八年より縣の指定研究學校)

二、測候所

明治十六年以來地方記録を藏してゐる。

三、民謡

○宮古大漁節

宮古浦には 宮古浦には名所が御座る

沖を遙かに 沖を遙かに見渡せば

一丁目 二丁目 三丁目 四丁目 五丁目までも

鮪が大漁で 鮪が大漁でだんべに積んで

聲を張り上げ 聲を張り上げ拍子を揃へ

よいところさでうたひこむ

お祝ひは繁ければ お且那様は七ツの藏をお建てなさる

扇の如く末廣く 團扇の如く末丸く

思ひがけなき大々漁 あまたの商人大祝ひ
まして漁業者なほのこと

○ 宮古音頭

- 1、ハア、沖の日出鳴 山を越す 岩の中から 潮を吹く
ハア男波女波の寄せ返し サテ 大漁じや ドッコイナ ハア宮古横邊の にぎはいよ
- 2、ハア、白い鳴根に 磯馴松 波も静かな浄土濱
ハア海女の小唄に暮れて行く サテ 大漁じやドッコイナ ハア宮古横邊の にぎはいよ
- 3、ハア、浦の建網 大漁の 上ぐるフライ旗 鮪アリ
ハア拍子揃へて 唄ひ込む サテ 大漁じや ドッコイナ ハア宮古横邊の にぎはいよ
- 4、ハア、沖に漁火 一面の 鱈船の 満船に
ハア笑顔嬉しや 妻や子の サテ 大漁じや ドッコイナ ハア宮古横邊の にぎはいよ
- 5、ハア、出船入船 絶の間なく 宮古優りの 歌ヶ寄
ハア浮かれくゝて 夜を明かす サテ 大漁じやドッコイナ ハア 宮古横邊の にぎはいよ

四、俚 謡

○ かあざの子

「かあざ子、かざこ、この子を、ほしい」
「あの子を、ほしい」
「なに、なに、かせる」
「さぞこそ、かんじよこそ、かせる」
「羽がなくて、さばれ ねね」
「はれこは、こんどの市にかつてけんが」

さんで
さんで
さんで

○ 爺と婆

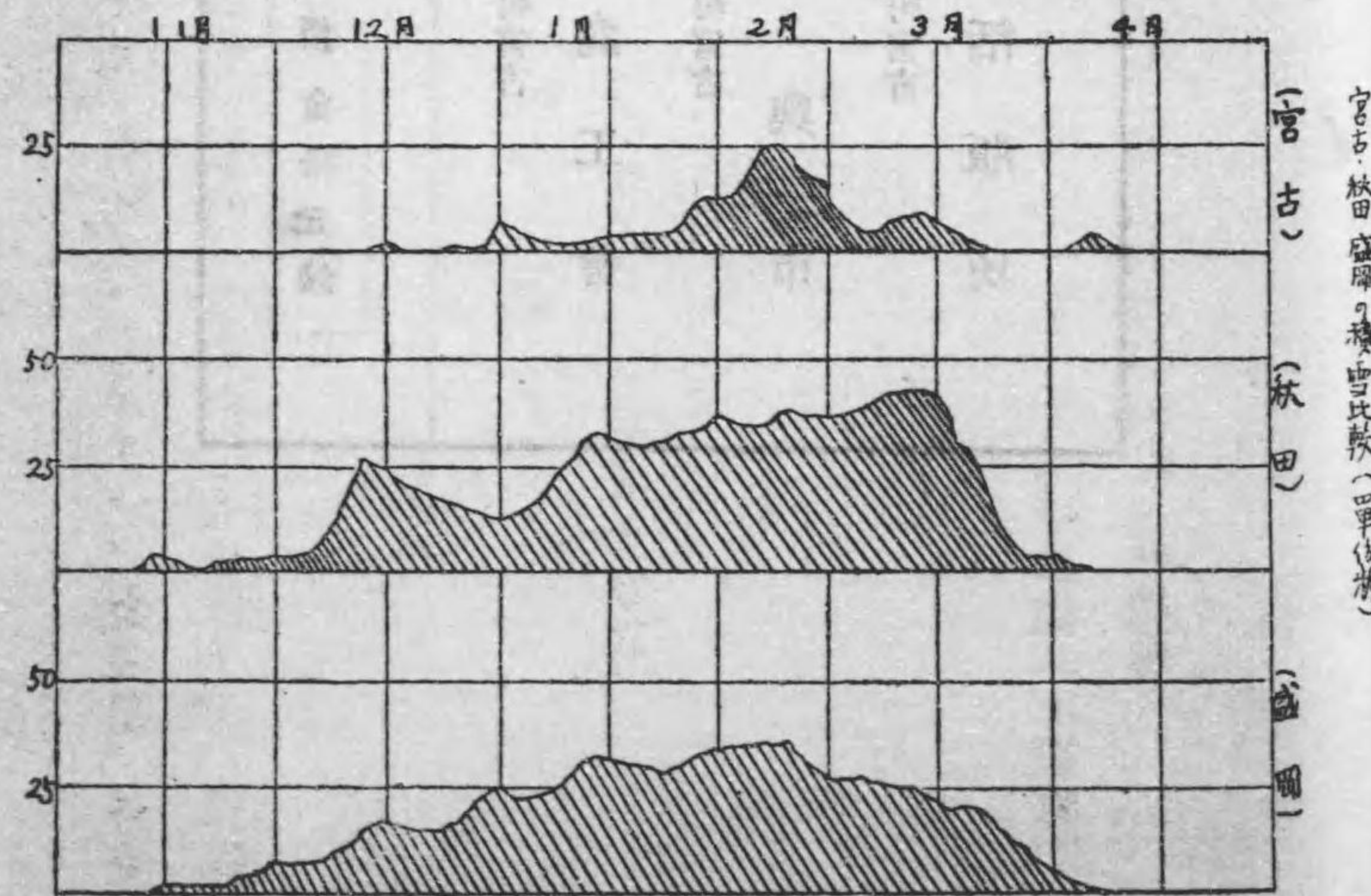
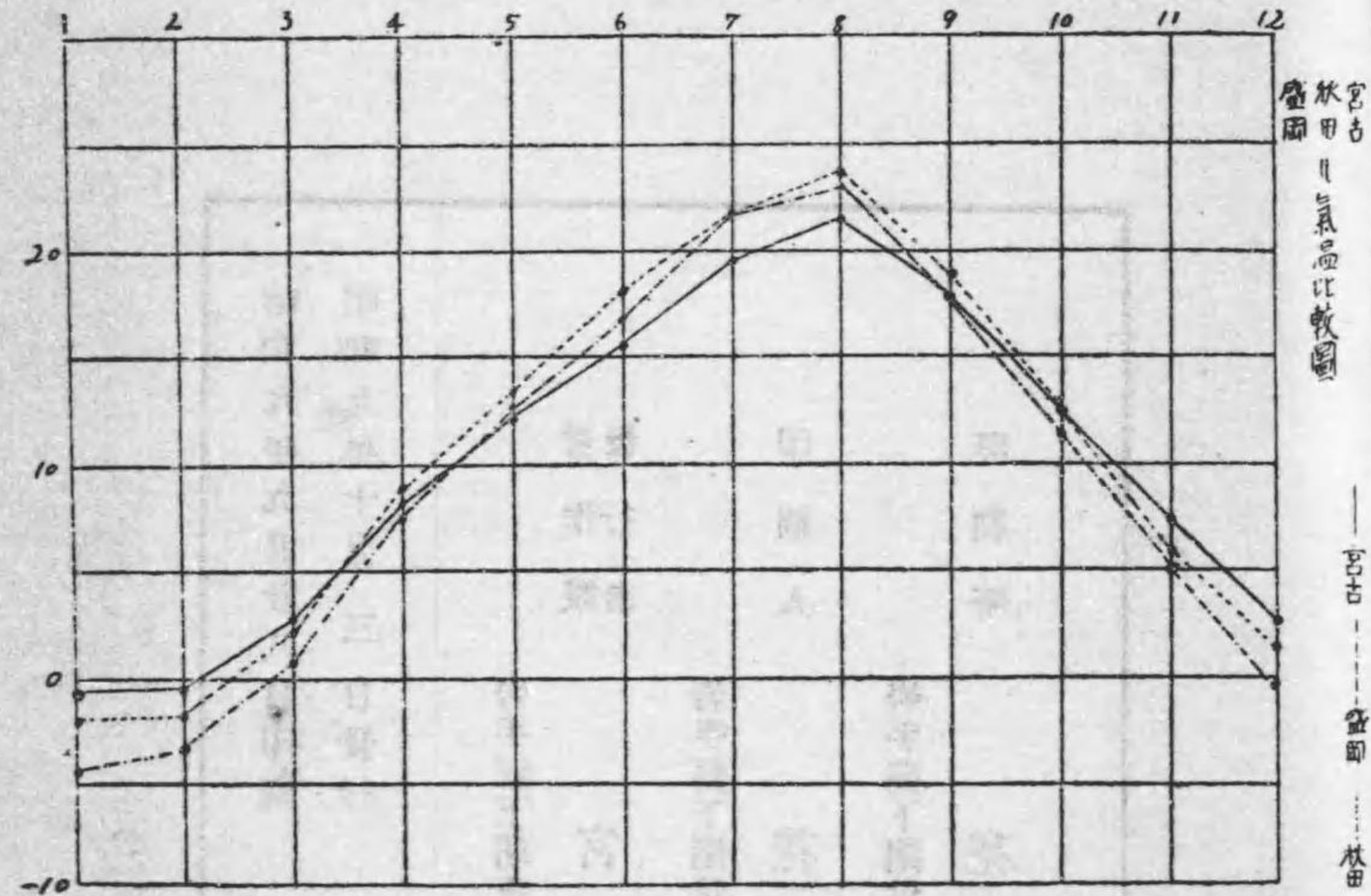
爺と婆は、れでろ
よめは、起きで 火もせ
わらし(子供)は、おぎで
團子 けけ(食へ)。

○ べえご
べえ(牛) べえい、 つんべえい
山のべえこに まげんな
味喰くつて こぼろ。

五、花 柳 界

- | | | |
|-------|----------------------------------|--------|
| 歌ヶ崎箱番 | 藝妓 三十人 | 半玉 十二人 |
| 宮古花街 | 藝妓 十人 | 酌婦 三十人 |
| 歌ヶ崎遊廓 | 貸座敷 十軒 | 娼妓 四十人 |
| 料亭 | 宮古 古 古 壽々龜、嘉久扇、船越屋、新屋、武藏屋、扇家、多美家 | |
| | 歌ヶ崎 旭屋、相馬屋、長岡屋、松の家、柳川、梅香庵、開清庵 | |

表較比雪積及温氣 (附)
(田秋・岡盛・古宮)



六、宮古方言

カフエー 宮古 赤玉、銀座、新屋食堂、満洲、キング、スズラン、金の星、外交
 キリン、エーワン、宮古食堂、祇園、中央軒、モンパリー、洋洋
 鎌ヶ崎 寶來家、菊廼家、壽々龜食堂

いらつしやいませ でおでんした。 知りません 知らなごせんす。
 あらいやです ああや あや、やつてごせんす。 有難うございませす 大きに。
 お召し下さい におあがりやつて下せんせ。 天上又は上 にかさ。

八、旅館案内

宮古 古 熊安旅館 (新町) 澤田屋旅館 (新町) 松本旅館 (幾久屋町) 宮城屋旅館 (末廣町)
 昭和館 (築地通) 山田屋旅館 (下町) 菊清旅館 (本町) 若山旅館 (築地通)
 鎌ヶ崎 丸福旅館 (海岸通り)

露光量違いの為重複撮影

岩手縣下閉伊郡宮古町宮古

(宮古・岩手・岩手)

昭和九年九月廿八日印刷
昭和九年十月三日發行

定價金拾五錢

著作
發行者兼

岩手縣下閉伊郡宮古町宮古

宮古商工會

印刷人

岩手縣下閉伊郡宮古町宮古

花坂與市

印刷所

岩手縣下閉伊郡宮古町宮古

花坂活版所

昭和九年九月廿八日印刷
昭和九年十月三日發行

定價金拾五錢

著者兼發行者
岩手縣下閉伊郡宮古町宮古
宮古商工會

印刷人
岩手縣下閉伊郡宮古町宮古
花坂與市

印刷所
岩手縣下閉伊郡宮古町宮古
花坂活版所

宮古末廣町

割烹
めし
壽々
龜本店
電話(三五〇番)

鍛ヶ崎上町

和洋御料理
生登
壽々
龜支店
電話(三六七番)

桐材

卸

履物小

雨傘

賣

商號ふぢよし

藤田芳三商店

宮古町本町
電話三六五

宮古町支廳前

旅館 昭和館

電話二三八番

銅鐵打刃物
建築金物石灰
板硝子セメント
度量衡器

傘 五味金物店

宮古町下町
電話六一番

宮古名産

鯉節 鱈味 鯉節
刻昆布 鮮魚

鈴木徳右工門商店

宮古港光岸地
電話呼出三五三番

森永製菓代理店

宮古港築地通

菅東本店

電話十九番

宮古港下町

菅東分店

電話三百二十六番

陸中宮古町



醤油醸造元

高村支店

電話二〇五番
本店八戸市

ダイヤモンド模
型飛行機及材料
特約店

メリヤス
帽子
作業服
ズボン

三鶴屋洋品店

宮古下町

名物だるま煎餅

名 磯ノ香
八起最中
菓 ーのり羊羹

だるまや菓子舗

宮古舊館
電話三四四番

盛宮自動車株式會社
宮古自動車合資會社
刈屋自動車商會



三社聯合事務所

本社 岩手縣宮古町新町
電話十三番
支店 山田線陸中川井驛前

宮古町宮古橋際

青山醫院

電話 三七二番

内科、小兒科、耳鼻咽喉科、外科
レントゲン科、物理療法科

○入院隨時○

顧問 醫學博士 竹内慶次郎
院長 醫學士 青山五一郎

日本共立保險會社
BSタイヤ、特約店
日石ガソリン、オイル販賣
尾半自動車取扱店



木材商
山善商店
木炭

宮古町本町
電話一海産部一四五

宮古町末廣町
茶代
廢止

宮城屋旅館
電話一五二番

宮古町本町

菊清旅館
電話一三三番

三熊谷海産問屋

鮮魚塩干魚
廻來船取扱

熊谷善四郎

宮古町鐵ヶ崎
電話國宮古二八番

かまぼこ製造

鮮魚
鹽干魚

三八兵衛屋商店

宮古町本町
電話三三四

桐箆材
建築具一式



荒川箆筒店

宮古町片桁通り
電話呼出二〇五番

岩手縣宮古町



盛宮自動車株式會社

旅客運輸部 電話一三番
貨物運送部 電話一八番
支店 盛岡市餌差小路

岩手縣宮古町築地通

味噌醬油釀造販賣
肥料製造販賣
倉庫營業

菊長合名會社

電話一六番

岩手縣宮古町



盛宮自動車株式會社

旅客運輸部 電話一三番
貨物運送部 電話二八番
支店 盛岡市餌差小路

岩手縣宮古町築地通

味噌醬油釀造販賣
肥料製造販賣
倉庫營業

菊長合名會社

電話一六番

◆ 設常動活 ◆

宮古町舊館

第一 常盤座

電話 二一五番

宮古町末廣町

第二 常盤座

電話 四〇一番

宮田製
自轉車 特約代理店

山崎自轉車店

宮古町下町
電話 二五七番

山田屋旅館

宮古町片桁
電話 五十二番



殿方
御婦人
子供用

ミヤマツ商店

宮古町本町
電話 一五番

船具・漁具

株式會社 三多商店宮古支店

宮古港光岸地
電話 二〇六番
電略 (三) 又八 (三一)

宮古町幾久屋町
市内 郡部 貸切

吉田タクシー

電話 二二四番

宮古町新町

熊安旅館

電話 長三二二番

賣藥。藥種。卸小賣
度量衡。計量器各種

三熊谷藥舖

岩手縣宮古港新町
電話 長八番・二八番

スタンダードヴァキウム石油會社
大日本ビートル株式會社 特代理店
三井物産株式會社 石炭部

三熊谷商店

岩手縣宮古港新町
電話 長八番・二八番

國定教科書販賣店

藥種賣藥
和洋紙類
文房具商



幾久屋商店

藥劑師 山田庄助

宮古町本町
電話 六番

水産物製造
委託販賣
漁業

岩手縣宮古港

六佐々木新六

電話 一四二番
電略(サシン)(サ)

岩手縣宮古港

海産商 三小お孝商店

店主 小笠原孝三

電話 本町(一)又(一)オコ
電話 賣場(一)又(一)オコ
電話 賣場(一)又(一)オコ
電話 賣場(一)又(一)オコ
電話 賣場(一)又(一)オコ

宮古町築地



米穀商 岩田徳右工門

電略(イワ)又(イワタ)
電話 一四九

宮古町幾久屋町

御料理 船越屋

電話 二二九番

宮古本町角

不 玉木屋吳服店

電話 二百五十六番

帝國生命保險株式會社下閉伊代理店
神戸海上運送火災保險株式會社山田代理店
明治製菓特約店

吳服太物・尾半醬油
洋品雜貨・綿と布團



合資會社

龜屋商店

宮古新町
電話 一二五番
振替東京二一八六番

岩手縣公認ドリニング工場



白盛舎

迅速確實
親切丁寧

本店 盛岡加賀野
支店 宮古公會堂通り
電話 一〇〇番
電話 二四九番

高級洋服

セキヤテラー

陸中宮古港公會堂通り(電話二四九番)

肖像畫揮毫

岩手縣宮古港 關川光洋



宮古新町 田舎

澤田屋旅館

電話長三五番

宮古驛前

宮古合同運送株式會社

電話
魚市場 四壹壹番
四壹〇番

宮古驛前

宮古合同運送株式会社

電話

魚市場 四壹壹番

四壹〇番

終

7